

4. 近畿ブロック会議報告

- ・尾崎会長、石橋副会長において第53回近畿学術大会（京都府士会）に対して監査した。
- ・第55回近畿学術大会（兵庫）から2日間での開催予定となる。
→これは以降も継続の方針であり、目的としては日曜出勤の施設が増加傾向にある中で、2日間開催することで少しでも多くの会員が参加できるように、また将来的に公開講座や専門学会との共催を視野に入れての対策である。その予算としてはペーパーレス化により会場費を捻出する方向である。和歌山、滋賀、奈良では会の規模から困難が予測され、対策が必要である。
- ・50回全国学術大会（東京）において記念式典が開催される予定であるが、奈良県士協会から3名の出席が要請されている。参加費は奈良県士協会から支給するのか検討が必要である。
- ・全国学術大会開催時に生涯学習担当者会議が予定されている。
- ・社会局会議（佐藤理事）
→4月17日から19日にインテックス大阪で開催されたバリアフリー2014において近畿ブロックのブースにて221件の相談業務を行った。
- ・学術局会議（石橋理事）
→学会にて発表したにもかかわらず、学会誌への掲載を拒否する会員がいる。発表ポイントを付けるか否か、検討が必要である。
→学会にて設置した託児所において、7～8名の利用があった。今後も継続して設置するよう依頼された。
→学会予算は1年前には提出するよう依頼された。
→その他として大阪府士会が設立50周年を迎えるにあたり、平成28年11月28日に式典が予定されている。

5. 全国事務局長会議報告（増田理事）

- ・平成26年6月25日に開催された。
- ・会費徴収において現状の方法では年度初めの運転資金の確保が困難であり、ゆくゆくは前納の方向で検討されている。
- ・新入会員においてコンビニエンスストアでの入会金の入金が可能であるが、会費未納率が高い。いかにクレジットに持っていかを課題として考える必要がある。基本的には楽天カードでの取り扱いであるが、その他カード会社も認めざるを得ないか。
- ・休会者が多くなっているが、会費負担の軽減を考える必要があるのではないかと（65歳以上の会員、育児休暇中、夫婦割引など）。
- ・会費未納退会について現状の2年半をもう少し早めることが出来ないか、検討された。

6. 地域包括ケアシステムについて（佐藤理事）

- ・ 6月22日に地域包括ケア推進リーダーモデル導入研修が開催され、本会より佐藤理事、櫻井会員が参加した。
- ・ なるべく早い段階にて地域ケア会議を開催していかないといけない。
→既存の会議を地域ケア会議として開催（読み替え）されている自治体もある。
→2週に1回、または月1回の頻度での開催が必要ではないか。
→会議の頻度を考えると定年退職された会員が妥当ではないか。
- ・ 推進リーダーの決定においてはe-ラーニング受講後、指定事業・導入研修に参加する必要がある。
- ・ e-ラーニング受講免除者を本会議にて検討、以下に決定した。
→①役員（理事、監事、部長、委員長）
②部員、委員
③指定事業（H25年度～）：奈良学会運営、公開講座運営、奈良マラソンメディカルサポート運営、県高校野球メディカルサポート運営、3団体訪問リハビリ実務者研修運営・修了者、公的委員会被推薦者、専門領域勉強会運営（本会共催分のみ）、なら介護の日イベント運営
→指定研修に参加した5名（佐藤理事、西田理事、中村理事、櫻井会員、堀会員）にて情報の整理、方針の大枠を決め理事会へ答申することとした。
→日本理学療法士協会や自治体からの問い合わせ、および要請における窓口を中村理事とする。

7. 各局・部・委員会報告

- ・ 黒滝村からの介護予防事業への派遣依頼において中村理事にて承認された。
- ・ 将来、本会における事務員の雇用について給与形態等、社会保険労務士へ相談している。
→本会の規模や業務内容より最低月3万円、また一人の事務員では効率的でない、派遣等も考慮する必要があるのではないか。
- ・ 会誌部より7月上旬発送の予定であったが、中旬から下旬となる。また当初の見積もりは消費税5%で計算していたが、現在の8%にて支払うこととする。（松村理事）
- ・ 法人設立20周年記念誌について、来週には発送される見通しとなった。（西田理事）
- ・ 平成26年7月20日 奈良県文化会館において、奈良県高次脳機能障害リハビリテーション講習会が開催される。ワークショップにて講師をする予定。（西田理事）
- ・ 第24回奈良県理学療法士学会における学会長賞、新人賞を選考、理事会へ

答申する予定。(中村理事)

- ・第25回奈良県理学療法士学会において書籍販売を考えている。(藤川)
→業者選定においては利害関係が生じないのであれば、どの業者でも構わないことが確認された。
- ・ブロック活動推進委員会より、地区別症例検討会の開催にあたり、発表プレゼンテーション用PCが、会員個人や会員施設のものを使用している。購入について要望あり。(藤川)
→購入につき了承された。
- ・奈良マラソン2014実行委員会より、今年の開催においても奈良マラソンメディカルサポート委員会に対し協力依頼あり。スタッフ増員、予算増額を検討している。

8. その他

日本医療マネジメント学会 (石橋理事)

- ・6月3日の会議に参加した。
- ・平成27年1月31日、なら100年会館において学会が開催されることとなった。
- ・テーマ：医療のIT化は、患者に恩恵をもたらすか？
～使いこなすIT、システムの確立～

以上